



とよおか

第 32 号

平成18年7月28日

議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷株式会社



暑中お見舞い
申し上げます

6月定例会

6月定例会のようす	2～3
予算特別委員会の質疑から	4～5
一般質問のようす、追跡	6～7
一般質問のようす	8～11
一般質問のようす、視察報告	12～13
「私の一言」、私がんばっています、編集後記	14



この議会だよりは、再生紙を使用しています

6月定例議会開かれる 議員定数は14名で可決される

平成十八年度第二回定例会が六月五日から六月二十日の日程で開催された。一年間以上かけて議論された定数問題の他、一般会計補正予算、特別会計補正予算、各種請願、陳情などが審議されました。

平成十七年三月議会最終日の全員協議会の席上、下平喜隆議員から、豊丘村議会も他町村同様、議員定数の削減を考えるべきとの発言があった。

旬の話題でもあり古川議長をオプザーバーに迎え、北沢副議長を委員長に唐澤敬六、片桐秀人、前沢光昭、川野孝子、菅沼明人、下平喜隆の七名で定数研究委員会を立ち上げた。

翌四月から一年間に及び七回の研究委員会が開催された。毎回の委員会は定数問題が議会制民主主義や、それに係る常任委員会中心主義、新しい地域経営学など参加しているそれぞれの議員の心の琴線にストレートに触れるため、激論につぐ激論が続いた。

時には夜間のみの出勤実費で行うシテイマネジャー制なども研究したが法律の枠外だった。

最終的に委員会では定数十六人が三名、定数十四人が三名、定数十人が一名の三派が譲らず結論は全議員での研究会へ委ね

る事になった。

議員研究会では村民の皆様のを考え方を、議会としても参考にするべきと平成十八年二月十六日に役場において議員定数問題懇談会を開催した。

席上ではまず十六議席の唐澤議員、十四議席の川野議員、十議席の下平喜隆議員がそれぞれの考えを主張した後、村民との意見交換となった。

参加した村民の考えは現行の十四議席未満とする意見が多数であった。

この時、一村民から、各議員は定数を何人と考えているか、それぞれ発表して欲しいとの声に全議員が答えた。(議長を除く)

二月時点での 各議員の定数案が それぞれに発表 された

十六人 唐澤敬六、前沢光昭、片桐秀人

十四人 北澤 貢、川野孝子、片桐眞理子、松井尚子、下平豊久、菅沼明人、松村正三

十二人 筒井 博

十人 下平喜隆

保留 丸岡 茂

以上、当時としての各議員の立場は公になった。

その後、二月臨時会において村提案の農業委員四名削減の条例改正案が議会により、起立による採決が行なわれ「賛成五、反対八」で否決された。

かねてより議員定数問題に関心の深かった村づくり委員会は、農業委員定数削減反対の議会の立場も含めて、四月十九日に議会から議長、副議長、唐澤、川野、下平(喜隆)計五名と定数に関する懇談会を行った。

村づくり委員会は現状の十四議席未満をほぼ全員が主張した中で、村づくり委員会と議会との温度差も表面化した。

しかしこれがきっかけとなつて、村づくり委員会はアンケート調査を実施。議会としても村内六ヶ所で定数問題懇談会を開くこととなった。

議会は二班に別れて六ヶ所で定数問題を中心に村民の人たちとひざを交えて話し合うことが出来たことで、それぞれの議員にも定数について考え方の変化

が表れて来た。

歩み寄りの結果 十四名と十三名 二つの案が提出 された

最終結論を下す六月議会初日を目前に開かれた全員協議会では、十六人を主張した三議員が、十四人を主張する四議員に合流し七名の過半数を獲得。

十二議席を主張でまとまった四議員と十三議席を主張する二議員をリードした。

開会直前には十二議席を主張した四議員が十三議席の二議員と十三議席で合流し、当日の討論、議決に望みをつないだ。

当日は両者、声の限りにそれぞれの討論を行った。結果は、北澤貢、唐澤啓六、前沢光昭、片桐秀人、川野孝子、松井尚子、片桐眞理子の七名の賛成で、現行の議員数十六名を十四名とする提案が、十三名とする、下平豊久、筒井博、丸岡茂、菅沼明人、松村正三、下平喜隆の六名を上まわり議決された。

来年四月の選挙は十四名で争われる。一人でも多い立候補者を議会としても心から願っている。

一般会計補正予算

平成十八年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ一億二千九百六十九万六千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ三十一億七千八百十九万六千円とするものです。

◎議会費百二十八万四千円 減

報酬審議会の答申では議員については三パーセント削減が示されたが、三月議会において理事者と同じ五パーセントにすべきとの意見があり修正案が可決された事に伴う減額。

◎コモンズ支援金(案内板)事業に二百六十四万六千円

コモンズ地域みちしるべ事業は十七年事業で村内二十一ヶ所の避難所に案内板を設置したが本年度は一ヶ所二枚の割合で四十二ヶ所に、地域の人達と協働で設置をするものです。

◎団塊の世代二泊三日農家民泊体験ツアーに百万円 計上

バス借上料六十万円、印刷製

本費十万円、広告料三十万円の合計百万円は関東地域の団塊の世代をターゲットに二泊三日の農家民泊体験ツアーを実施しようとするものです。

この体験ツアーを通じて豊丘村の良さを実感していただいて住んでもらいたいとの思いから人口対策の一環としての事業であり、ある程度継続したいとの説明がありました。

◎人材育成事業に百五十万円

昨年まで中学生を対象にアメリカ、オレゴン州にホームステイ人材育成事業を実施してきましたが、参加者が減少した事もあり事業の見直しを検討する中で、当初予算には計上してなかったが、是非空白をおかず継続したいとの村長より説明があり今年度の計上となった。内容は八月の夏休みにバス二

台分七十名で、延暦寺にて座禅教室をおこなう予算です。

◎デジタル化工事費七千七百五十万円追加

十九年度の音声告知事業を前倒しで実施するもので、国のまちづくり交付金が三千万円増額されたのにもなう予算です。

なお報償費四十三万円は、プロポーサル方式の設計提案と審査員の謝礼です。

◎凍結道路ノンスリップ促進事業に三百十五万円

この事業は県のコモンズ支援事業で三分の二(二百八万二千円)の補助で、塩カル収納ボックスを各区に五基、合計三十五基を設置するものです。設置場所は各区で協議して決めていくとのこと。

特別会計補正予算

◇老人保険医療特別会計

二千百万三千円を追加し、予算の総額を七億八千二百四十万三千円とするものです。

◇簡易水道特別会計

三百三十六万円を減額して、予算の総額を一億七千二百六十四万円とするものです。

◇下水道事業特別会計

五百十四万円を減額して、予算総額を三億一千八十六万円とするものです。

陳情・請願

- ◎「若者定着のための公営住宅の建設」を求める陳情…採択 陳情者 区長会長 松尾彬二
- ◎「村営バスを長沢会所まで運行路線の延長」を求める陳情…採択 陳情者 区長会長 松尾彬二
- ◎核兵器廃絶国際協定実現を国連とすべての国に呼びかける意見書提出に関する陳情…採択 陳情者 非核の政府を求める長野県民の会 代表 望月峻成 豊丘村神稲 鹿野春子
- ◎障害児の放課後及び長期休みの保育及び支援の安定対策を求める請願…採択 紹介議員 片桐真理子 請願者 飯伊伊南障害児保育を求める親の会 豊丘村河野 池田克宏 豊丘村手をつなぐ親の会 豊丘村河野 林 武司
- ◎「高校改革プラン「実施計画」で地域で合意のない部分を撤回し、学校現場に十分検討期間を保障できない平成十九年度実施を見送ることを求める意見書」採択を求める陳情…採択 陳情者 長野県高等学校教職員組合執行委員長 高村 裕 豊丘村神稲 池野光政
- ◎「教育基本法の改定について慎重審議を求める意見書」の採択を求める陳情…採択 陳情者 長野県高等学校教職員組合執行委員長 高村 裕 豊丘村神稲 池野光政
- ◎脳脊髄液減少症の治療推進を求める陳情…採択 陳情者 豊丘村神稲 今村正弘

取り組みは

平成十八年度一般会計補正予算は、一億二千九百六十六万六千円が追加される。有線事業や住宅造成事業が主なものである。人口増対策について活発な意見が出された。

団塊世代ターゲットに移住体験ツアーを

丸岡議員 都市住民にバスを出して村に来てもらうという事だが、どういう発想で、どのような趣旨なのか説明を願う。
伊藤課長 趣旨は人口増対策である。関東の団塊の世代をターゲットに、人数は四十人でバス一台、二泊三日の農家民泊で行う予定。交通費だけは村が負担をし、果物の収穫などをしながら村の良さを体験してもらおうというものである。

丸岡議員 対策は必要だが基本的戦略は考えているのか。
唐澤議員 路線をきちんとするのは理想だが、とり上げる事は大事である。村民の意見もとり入れてほしい。
下平(喜)議員 こちらの都合だけで呼ぶのではなく、職場や宅地などの組み合わせもなければ無理があるかもしれない。
村長 今まで研究してきた中で予算づけをした。全国的にもこの運動は高まっている。村か

ら出た団塊の世代の家庭に許可を得たり、関東豊丘会にも働きかけ人口増対策に取り組む。
川野議員 援農で毎年来ている人達の中に、豊丘に住んでみたいという人もいる。そのような人達にも働きかけてほしい。
片桐(秀)議員 人口増対策について庁内で検討されている事はあるのか。

毛涯所長 総務課内で研究が進められている。主な取り組みとして、保育料の軽減、結婚祝金の導入、移住者の税の軽減、空き家情報、架橋の取り組みなどである。

人材育成事業

について

川野議員 平成十七年まで、中高生のホームステイ事業として取り組んできたが参加者の減少やマンネリ化で新しい事業としていきたいという事である。六月議会の補正で、百五十万円が計上されているがどのような事業をするのか。
教育長 比叡山で座禅体験を二

泊三日で行い、中学生が対象でバス二台、七十名を予定としている。八月上旬、夏休みを利用して行う。自己負担も五千円位を予定している。

コモンズ支援金でエンカルボックスの設置を

北澤議員 エンカルボックスの設置について説明を願う
森田課長 一基九万円で、各区に五基ずつ配分する。委員会では砂の方がいいという意見も出ている。

北澤議員 設置場所は区で希望を出すのか。
森田課長 維持管理、労力奉仕は区でやってもらいたいので、区の主導で決めて頂くことになる。



議会活動報告

- ◎四月
- 三日 議会たより編集委員会 保育所入園式
- 五日 南北小・中学校入学式 県町村議会議長会役員会(議長)
- 十日 議会たより編集委員会 一月会
- 十四日 議会たより編集委員会
- 十七日 議会たより編集委員会
- 十八日 北部ブロック正副議長事務局長会議
- 十九日 土木懇談会
- 二十一日 飯伊林活議員連盟総会(正副産建委員長) 定例全員協議会
- 二十五日
- 二十八日
- ◎五月
- 一日 広域連合議会運営委員会 市町村対抗駅伝大会 水防訓練
- 七日 議会運営委員会
- 八日 北部ブロック正副議長事務局長視察研修 広域連合臨時議会(正副議長)
- 九日
- 十日
- 十一日 第二回臨時議会
- 十二日 中学校竣工式
- 十三日 ふるさとの森づくり 県民の集い(議長)
- 十五日 議会懇談会(二会場) 土地開発公社理事會 議会懇談会(一会場)
- 十六日

予算特別委員会の質疑から

人口増対策の

**就学支援連絡会
委員会報酬とは
どのようなものか**

前沢議員 就学支援連絡会とは
なにか。

松下事務局長 現在自宅療養中
の中学二年生の生徒が一名いる。
今後中学校で受け入れられた
場合は校用入夫賃金として、予
算上、七月から三月までの九ヶ
月分を計上してある。

学識経験者と児童相談員、五
名位をお願いするための費用で
ある。

片桐(秀)議員 障害とはどのよ
うなものか。

松下事務局長 体幹もある。今
後、本人、家族との面接を続け
ながら対処していきたい。

**中平地区に
住宅団地の造成**

下平(豊)議員 中平の住宅団地
造成事業は村の直営で行うよう
になった。理事会では、一般会
計の方が予算審議の時、全議員
の元で行うので意見の反映がで
きる事や進行状況もわかりが良
いという意見が出た。

唐澤議員 公社で対応した住宅
団地の報告や、売れ残った場合

も含めて長時間議論をしてきた。の通り、開発公社で行って、い
いずれにしても大きな事業な くののか。
ので成功させなければならぬ。 村長 公社があるので、使って
丸岡議員 今回は決まった事で いく方がよいのかと思う。
あるが、今後は一般質問の答弁

条例制定

●豊丘村議会の議員の定数を定める条例の一部を次
のように改正する「十六名」を「十三名」に改め
る。(否決)

●豊丘村議会の議員の定数を定める条例の一部を次
のように改正する「十六名」を「十四名」に改め
る。(可決)

●豊丘村公の施設の指定管理者の指定手続等に関す
る条例の制定。(可決)

●豊丘村国民保護協議会条例の制定(可決)

●職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を
改正する条例制定(可決)

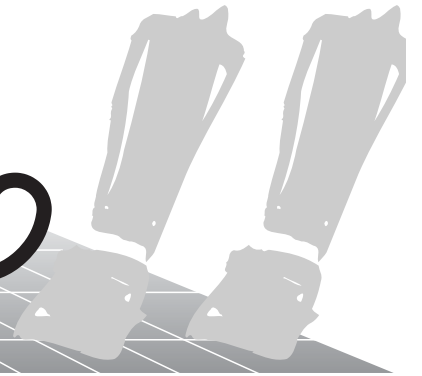
●豊丘村国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本
部条例の制定(可決)

●国民健康保険税条例の一部改正する条例の制定(可
決)

●消防団員退職報償金支給条例の一部を改正する条
例の制定(可決)

三十日	豊丘村議会議員研修会 全員協議会
二十日	第二回定例会再開日
十六日	予算特別委員会
十四日	議会一般質問
十日	厚生病院「病院福祉祭」 議会一般質問
九日	豊丘村議会議員会役員 会(議長)
八日	中日交流協会(副議長)
七日	総務産建委員会
六日	総務産建委員会
五日	議会だより編集委員会
一日	松くい虫空中防除 第二回定例会開会 全員協議会
◎六月	
三十一日	町村議会広報研修会 松くい虫空中防除
三十日	定例全員協議会
二十七日	む安心を求めて」 シムボジウム「産 ター通常総会
二十六日	釧路町議会視察
二十四日	郡町村議長会総会
二十五日	議会委員長会議 シルバー人材セン ター
二十三日	国民健康保険運営協議会
二十日	松くい虫対策協議会
十九日	議会運営委員会
二十三日	全国町村議会正副議 長研修会
十七日	県議会土木住宅委員 会現地調査
十九日	議会懇談会(二会場)
二十三日	議会懇談会(一会場)

しつもん



質 自立への村づくりについて 答 協働の村づくりを展開実践する

菅 沼 明 人

質問 豊丘村は当面自立の村として進むことになり、今後は、ますます厳しくなる豊丘村の行財政では、経費を切り詰めても展望は簡単には開けないと思います。阿智村のように、助役、収入役、教育長を置かず、村政を推進したらどうか。

村長 阿智村では、理事者が一人であり、すべては村長の権限で任命できるスタイルで議会のチェック機能が重要、よい部分もありますが、現体制が良いと私自身は考えております。

質問 最近の普通地方交付税と臨時財政対策債の減少率、今後の税収の見通しについて

村長 平成九年で普通交付税が一億八千九百万円でしたが、毎年徐々に減っており平成十四年から大きく減っております。

交付税が減った分臨時財政対策債という形で措置されているが平成十七年については、この二つをたしても平成十三年対比八十二％と減少しております。

税収の見通しは、平成十九年度には、六億千二百万円位を見込んでおります。

質問 住民参加による村づくり

をどのように進めようとしておられるか。

村長 税収を増やすということが、大きな村づくりの道である。住民と役場が力を結集して住民自らが提言創造する新しい協働の村づくりを展開実践していきたい。とよおか祭りを、企画段階から住民参加による手作りのお祭りとして取り組んでいく。



皆さんご苦労様でした

追跡! No.1 村民との対話に努め村おこしを 東洋大セミナーハウスの現在は

雨の降る七月五日、セミナーハウスの吉田比登志さんを訪ね現状等について話を伺った。セミナーハウスのその後の利用状況については、高台にある事もありなかなか村民の理解に至っていないという事から、取材をした。

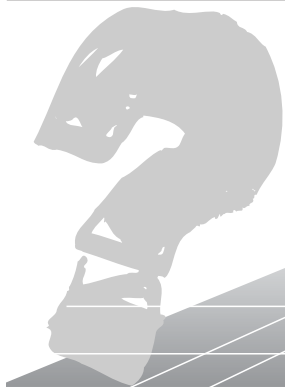
セミナーハウスの現在の住人については、吉田さん夫妻、農業をやりたいという親子三人、塾生(金沢より)二名、イン

ターン一名の計八名が農業をやりながら、セミナーハウス周辺でとれる梅で加工品づくりを行っている。坂島にも一町歩の農地を借りている。塾生からは月、九万円を費用としてもらっている。

村との契約も更新する事が出来、本格的に取り組みを始めたとしている。

豊丘村としても農業に携わっている人たちも高齢化してきており、この地域の農業を、農地をどう守り生かしていくか、自分としても村民の皆さんと対話を更に進め地産地消の取り組みをしたいとしている。食育の大切さも強調されていた。

六月三、四日に東京杉並区の久我山商店会との交流会を実現させ好評だったとの事。村からは村長、だいちの職員二名、加工組合から五名で参加。村でとれた竹の子、ふき、加工品を出店し大変喜ばれたとの事。次回への取り組みにも期待がかかる。



いっぱん

質 旧役場跡地利用について

答 今年度中に方向を

松 井 尚 子

質問 旧役場庁舎跡地について、これから、どのような検討をされて、どのくらい進展しているのか。

村長 一万ヘクタール余の土地になる。十八年度から始まる五年間かけて行う事業である。国土交通省のまちづくり交付金事業の中で、住宅対策も含めて今、村づくり委員会に諮問して検討を

お願いしている。
質問 村長助役はどのような構想を持っているか。

村長 役場庁舎周辺を利用活用したい。助役 公園化するか、文化的な施設にするか、福祉施設を中心施設にするのか、人口増対策の手段として有効に活用するのか、しっかり議論をして決めた。



日頃の成果は !!!

◎消防団について

質問 消防団長さんが村報で女性団員の補強を考えていると書いてありましたが、飯田では九十二名、高森十二名、喬木六名、天龍村八名、啓発活動とか救急法などを行っている。豊丘村でも女性団員を入れるということを考えているのか。

村長 消防団でも数年検討はしてきた。組織体制の見直しも含めて、消防団の方で検討をしてくれると思う。女性団員も団の活性化のために、それぞれの女性の役割、防火、救急、救護、そういう点で活動できるので再度考えてみたい。

かる。

セミナーハウスを利用したいと決心させたのは、広い梅畑が一緒に借りられる事だったという。どうしても荒れがちになってしまう広い梅畑を最初の情熱をもってきつと生かしていつてもらえると確信した。

豊丘村産業振興組合は、平成十二年に、村、農協、商工会の三者により、農業を中心とした産業振興、地域活性化を担うことを目的として設立された任意組合です。後継

者不足等により、農業、商工業が低迷、衰退を辿るなかで、全体的な停滞ムードを打破し、いかに地域に意欲と活力を与えることができるか模索し、検討を加えながら、現在、都市と農村の交流事業、観光農業、営農支援事業を柱として、産業の振興に関する事業展開を致して来た。

追跡! No.2

豊丘村産業振興組合のNPO法人化

検討の結果、公益が主目的であり、役場職員の派遣が可能といった観点からNPO法人化を決定した。

しかし、任意組合故に、事故発生時の組合長(村長)個人の無限責任になることや、村職員が組合収益事業に携わっていること、また、事業収益が生じて、法人税や消費税の申告納税義務が発生しており、これらの課題を解消するためにも、一日も早い法人化が急務となっている。そのことから、現在の活動収益や将来における方向性を重視して

質 子どもを取りまく環境の問題点は

答 家庭での指導も大切

川 野 孝 子

質問 中学校に於ては新校舎も完成し、新たな環境の中で学校生活が始まっているが不登校の生徒が小中どの様な状況であるか。

教育長 不登校という状況の子どもは、小、中で三名から四名と理解している。

心の相談室、保健室登校は、小学校まで入れると十名近い数字になる。

質問 最近、村民の中からも、中学校の子どもたちの服装が乱れてきているのではないかとという声も聞く訳だが、服装の乱れは、精神的变化に結びつく事も考えられるので、学校としては子どもたちや家庭に対してどの様な指導をされているのか。

教育長 私自身も若干感じてはいる。私も学校としても決して放つて置けないと思っている。服装だけではなく例えばあいさつにしても家庭内で「おはようおやすみ」と声をかけ合える家庭であつて欲しい。

村民運動として「早寝、早起き、朝ごはん」を盛り上げていきたい。



お母さんといっしょ楽しいな

質問 この六月の補正で人材育成補助金として百五十万円が計上されているが、どんな事業をやるうとしてしているのか。

村長 夏休みを利用して二泊三日の予定での事業を検討している。

松下教育事務局長 現在検討しているのは、比叡山の延暦寺で座禅の入所体験をしたらどうかという取り組みである。希望者を対象にと考えている。

質 重度、低所得障害者の負担軽減を

答 前向きに考えていきたい

片 桐 秀 人

質問 この四月から障害者自立支援法が施行され介護保険同様の一割負担が導入された。国では低所得障害者を二段階に分けて軽減をしている。しかし、年金だけの障害者にとつては、食事負担も行うこととなり、重い負担となっている。この低所得障害者の負担軽減を村は行う考えはないか伺いたい。更に本村には、まだ学齢期にある重度重複の障害児や、行動援護に該当する自閉症児がいる。これは近隣町村とは異なつた状況にある。こうした障害児を養育中の保護者は、経済的にも労力的にも負担が多い。支援サービスを利用して養育できるよう負担軽減を行う考えはないか伺いたい。

村長 行政として大切な課題と認識している。共に補完し合いながらやって行きたい。

質問 介護保険については村単独で負担軽減をしている。今年度は予算で七百万円である。障害児者は人数は少ない。もう少し具体的な答弁をお願いしたい。

村長 近隣町村の様子を見ながら、家庭の状況やお気持を察し、ある程度の支援をしていく必要があると感じている。

質問 市町村が行う事業として「地域生活支援事業」がある。この中には相談、移動支援、活動センターなどがあるが、村としてどう取り組む予定か伺いたい。

福澤課長 介護保険と異なり村だけでは人数が少ない。飯伊レベルで共同歩調の中でやっていく部分が多いと考えている。



元気の笑顔

質 起債の繰り上げ償還は

答 機会を逃さず有効な財政運営を

筒井博

質問 現在村の借り入れ金は、一般会計、特別会計合せて約七十億円弱あります。これは多くの事業をしてきた証として仕方のないことです。積立て金残高は目的を持って積み立てられたものを含めて二十三億円余となっております。これは行財政改革を進めてきた現れと思います。しかし起債はあく迄借

り入れ金です。今後の金利動向をみながら少しでも繰り上げ償還をしたらと思います。また村で始めて定期積金に変えて国債を購入しました。その内容は。村長 起債は元利償還の際、国からの交付税で処置されるものに一般会計では約七十%、特別会計では五十%が約束されておりますので繰り上げ償還するより将来的に有利となります。又返済をした方が有利な縁故債については利率三%を越えるものについては財政調整基金を取りくずして平成十年から十三年の四年間で二億七千万円繰り上げ償還してきました。今後も機会を逃さず、許可されるものは精一杯やっていきたい。



村づくり研修会より

助役 七億円を定期積金から国債の購入に廻しました。当面使わなくてもなんとか運営できるのであれば少しでも有利に活用したいと思つて二年の期限付で半年毎に利息が付くというもので、安全有利を最優先に心掛けて運営している。

質 受領委任払いで支援の充実を

答 前向きに検討

片桐眞理子



親子で植樹

助け合うシステムである。村長 個人の行為に頼っているが、今後事故対策を含めて制度化を検討していきたい。福澤課長 豊丘の規模ではセンターは無理。サポーターの養成を支援する形を考えていると村長は言っていると思う。質問 二つめとして、出産育児一時金の受領委任払い制度についての考えはどうか。この制度は、出産後、退院する時に一時金を差し引いた分だけ支払えばよいシステムである。

村長 病院の方へもお願いしながら、子育てに役立てば、前向きに検討してもよい。◎食育の取り組みについて 質問 食育は子育ての基本、現状がある。国でも食育基本法を施行している。村としての取り組みは。

村長 一番の基本は家庭での実行と思う。その上で、行政、学校、関係する組織が、一丸となり、成果を出して行きたい。

質問 子育てを社会全体で支えていく意識づくり、機会づくりや、様々なライフスタイルに対応した支援は、これから必要になってくる。そのための一つとしてファミリーサポートセンターの設置については、どう考えるか。この取り組みは短かい時間や一時的な臨機応変のサービスを手助けしたい人と援助を受けたい人が会員となり、

質 村内定住者への支援策強化を

答 住宅増が見込める時は検討したい

唐 澤 啓 六

質問 少子化・人口減少時代の今日、総合振興計画の目標である人口七千五百人の達成は極めて難しい。人口増対策の中で出生数を増やしていく自然増は少子化傾向の折大変なことであり、村内への定住者を増やしていくことが現実的な選択肢である。

この場合、住宅を新築して定住する住民に対し村の支援策を講ずる必要がある。生活基盤の基本である上下水道の布設については、将来三戸以上の団地化が予測される場合に限って本管延長等の対応をしているが、この条件を緩和し支援策を強化することが必要ではないか。

村長 加入者の利用料や税金を使うということであるので最低の条件として申し合わせは守っていく必要がある。本管を布設すれば住宅が増えるところは検討したいと思うが、どこでもということではなく一つの基準を設けていきたい。ご意見については内部で検討していく。

◎決算カードの改善を

質問 自治体の財政状況が一目で分かり、かつ将来の財政見通しも推察できる「決算カード」

は極めて優れたものである。カードの様式は全国ほぼ同一であるが、自治体によって工夫がされてもいる。本村では平成六年度以降同一の様式であるが、住民にとって分かり易く役立つ様式に改善していく必要がある。

伊藤課長 十七年度の決算カードの作成にあたって検討をさせていただきたい。



団地整備の鍵は。

質 住民負担増、介護保険に繰入れを

答 一般会計からの繰入れはしない

前 沢 光 昭

質問 十八年度は税制改定で定率減税の縮減、老年者控除の廃止、公的年金控除の引き下げで大幅な負担増となる。国は一方で米軍に三兆円を要求のまま出そうとする様な政治が続いている。来年は定率減税の全廃、その後続く消費税増税を考えると戦後最大規模の増税となる。

さらに住民税非課税の人が課税対象になる人は介護保険料段階が大幅に増える。豊丘での影響はどうか。今後遅かれ国保も緩和措置が過ぎれば上がる。

介護保険や国保への一般会計からの繰入れも検討すべき時ではないか。

伊藤課長 総額で老年者控除は二百三十万、定率減税縮減では一千万と見ている。単純比較では、個別な影響は後で。

福澤課長 国保税は現在低いし十分補助している。

質問 国保税だけの事を言ってるのではない。県内でもルール分以外で繰入れしているところはあるので今後検討を。



笑顔一番

◎国民保護計画について

質問 この計画は三年前の国会で成立した「武力攻撃事態法」の市町村での具体化。狙いは戦時意識の醸成。災害対応も入れて避難計画作成など作るもの、現在の法・条例で十分のはず。今までそれで対応している。村長の見解は。

村長 国でのそういう重要な部分については、従う必要があると思う。

質 慎重な国保の運営を望む

答 現在の運営方針を維持

下 平 喜 隆

質問 豊丘村は村長の方針で平成十二年度から国保税の減税を行っている。これは当時の基金残高が二億四千七百万円と他町村とくらべても群をぬく高水準にあつた状況を利用しての施策であり、この不景気な時代に施行できたことは加入者にとつてもよい事だつたと考える。

現在基金残額は一億四千五百万円となつた。喬木村では昨年医療費の突然

の急騰で三十七%アップの六万八千円の調定額となつた。また今年山形村では医療費のアップと基金不足が原因で三十三%アップの八万五千円の調定額となつた。これらを踏まえて国民健康保険の今後の運営方針をお聞きしたい。村長 私としても充分な基金のおかげで軽減する事が出来たことをありがた

いと思う。

国保税は医療費と密接な関係にあり、

健康への啓発を計りつつ低い国保税の水準を基金が六千万円くらいになるまでは維持したい。

質問 村の資料によると今年度一千万円。十九、二十年

将来の健康はいかに

村長 十七年度の決算状況も医療費を低く抑えられたので単年度収支が黒字となつた。現存の健康保険の基金は充分と考える。

質 人材育成、今後どうする

答 学校あげてが、より良き方向

松 村 正 三

質問 人材育成事業について、人材育成は、何も専門知識を身につけ、あるいは社会で大いに活躍する人材をつくり上げるのではなく、人として生きていく上で、無意識という意識の中に生きづき、心の強さや優しさの源を育ていくことこそ真の人材育成につながるものと考ええる。

新たに行なわれる事業では豊丘の子供たちの心の成長を促せるような、育ちの支援、育ちへの役立ち事業であつほしいと思う。

そこで、今回の計画と今後への考え方を示されたい。

教育委員会事務局長 今回の目的は、日頃経験できない体験をして、視野を広め経験を積んで人格形成と健全育成に資していきたい。

計画では、中学生を対象に希望者を募り、夏休みに二泊三日で比叡山延暦寺に入所の予定、生活リズムの改善の推進と精神修行として、うつつつけの事業になると思っている。

村長 こうした事業は一年でも休んではいけないの思いから、厳しい体験、そ

れを実践してもらうには、この夏休みしかないとの考えから計画した。今後については、学校との協議の中で、家庭の理解をもらい、学校を上げて取り組んでいただくことが良いと考えている。一つには富士市の良い例もあるので、学校の皆さん家庭の皆さん、健全育成という面で意を用いていただきたいと思います。



中学校での植樹風景

質 地域づくりの事業の目差すものは
答 住民の汗で地域づくりを期待

丸 岡 茂

◎自らつくる地域づくりの事業

質問 事業発足の背景、地域からの要望等はどうか。

村長 議会からの提案、地域からの助成の要望が前々からあった。今年度はまだ四件で少ないが、徐々に取り組みを期待する。

質問 地域づくりの気運の盛り上がり待つのみでなく、こうした働きかけも意義があると思う。但し、事業の目差すところを、もう少し明確にする必要があるのではないか。

村長 行政と共に住民が汗をかいて地域づくりに励んでもらえることを希望している。

要望 道水路の改良等基礎的條件の整備は地域住民共通の課題としてまとまるが、そこから先は価値観も多様。多くの住民に地域へ目を向けてもらえる事業としてほしい。

◎住宅団地造成の推進態勢

質問 土地開発公社は村長が理事長を兼ねるなど村と一体の組織。住宅団地造成を受託しない理由は何か。

村長 会計処理が一般会計のほうが見え易いなどの理由で、

理事会で承認されなかった。

質問 こうした事業を単年度主義の仕組みをとる一般会計で扱うのは不合理が多い。反対意見は貴重だが、まず公社の中で改善をはかる努力を何故やらないのか。それが行革ではないか。

村長 同感の部分も多い。次からは公社でやるよう改善したい。

要望 現地は地盤調査の結果も良しと事。立派な団地造成を期待する。



成長に期待して植樹

議会の中で現在二期以上の議員六名中五名により視察研修が行われた。豊丘村でも大きな課題のひとつ「交通システム」の先進の視察が目的であった。

この一月から「乗合タクシー」の試行運転を行ったが利用は福祉タクシーの五分の程度に留まった。なぜ利用が伸びなかったか、

こらが視察の目的で、三月末、五名の議員で、福島県南相馬市小高区の「多目的交通システム」を視察した。合併前は小高町で人口一万三五〇〇人、豊丘の約二倍で高齢化率二六%、本村と似た地形の町で、この交通システムを考案した福島大学の奥山教授が最初に試行を行った町である。

議員視察報告 「多目的交通システム」で福島県へ

片 桐 秀 人

このシステムの目的と沿革の説明を受けた。商店街の集客力の低下、タクシーの空車時の有効活用の問題を抱え、高齢者の外出機会を増加させ商店街の振興を目指した。取組みは地域住民と外部の有識者の協力で、徹底したニーズ調査が行われ、運行

データ分析しつつシステム開発を行った。ここに違いがある。本村では、車を運転し外出に窮しない者が机上で計画し、利用者の意向を反映する機会を作っていないこと。専門家やプロのノーハウを取り入れず素人判断で行っていることが問題と思われる。小高町では高齢者の外出を容易にして、生活基盤を安定させ生活の不便さを解消し、生きがいの創出、健康維持、消費生活を容易にし、商店の振興、医療介護等の社会保障費の節減等多くの目的を持つたシステムとして活用されている。

本村は今年度も交通システムの検討を行う予算を計上している。今回の検討には、視察で得た先進地の事例を生かし、専門家を交えた検討会となるよう提言する。



福島県南相馬市小高区の視察

視察研修 一月会研修視察報告 No.2

一月会（新人議員八名）は、三月二十七日、二十八日に、研修視察を実施した。

その内、愛知県豊田市足助町「公社（株式会社）」による地域おこしの様子、岐阜県輪之内町の「プラスチック一貫リサイクル」については、前号で報告したので、今号では三重県伊賀

市の「専任職員配置による市民活動への支援の状況」についての報告とする。

協働の地域づくり
「市民主体の自治の確立が最重要課題」

三重県伊賀市でも多聞にもれ



足助町観光公社にて

一方、市民や市民活動を行う団体が、自発的に社会や地域に対し、関わっていくという動きがあり、その活動が徐々に活発化してきている。

そうした状況の中で、住民主体の住民自活の確立が最重要課題となり、「市民活動支援センター」の設立が実現された。

同センターには、専任職員が常駐し、住民自治活動やNPO活動、ボランティア活動等の市民活動の支援のため、情報の提供など、あくまでも住民主体の活動に対する支援を行い、自らが手を出すことはしない。

いま必要なのは「意識改革」

県町村広報研修会

長野県町村広報研修会が五月三十一日松本文化会館において町村議会議長会の主催でおこなわれた。今までも全国、県の広報研修会に参加してより良い紙面作りに取り組んできました。

今回は議会だより編集委員全員と議会事務局長が出席して研修を深めてきました。この日の講師は、広報コンサルタントで山梨県町村議会広報研究協議会顧問の深沢徹先生で、議会広報の

- 基本を技術へいま必要なのは「意識改革」と題して講演がおこなわれました。
- ◇市町村議会広報四つの病気は
 - (一) なれあい病
 - (二) 目かくし病
 - (三) むずかし病
 - (四) 住民不在病
- ◇市町村議会広報四つの原則
 - (一) 議会広報は読者＝住民のもの。
 - (二) ありのままに。

議会の傍聴ができます

議会では、会議の進行に影響がなければ、子供さんをつけて議会の傍聴することができようになります。

議会傍聴は、議会の内容を知るよい機会です是非お出かけください。

議員をお呼びください

議会では、村民の皆さんの声を聞いたり、議会報告などの懇談会を行ってまいります。

地区の集会や各種団体の会議などに是非お呼びください。詳しくは、議員又は議会事務局にお尋ねください。

- (三) 分かりやすく。
- (四) 住民とともに。

午前中はこれらの事と「基本編」ありのままに住民とともにをテーマに、午後は「技術編」わかりやすく（あくまで読者＝住民の視線で）をテーマで講演が行われた。

今後とも以前におこなわれた議会だよりアンケートや研修会で学んだものを生かして読みやすい、分かりやすい議会だより作りをしてまいりたいと思っております。今後共ご協力をお願い致します。

（議会だより編集委員会）

シリーズ「私、がんばっています」

今回は、木目込人形の教師として、また御主人と二人で、
どう栽培や花卉栽培と多岐にわたり、がんばっておられる
木門の唐沢幸恵さんを紹介します。

唐沢幸恵さんは、教員を退職 家族です。

された御主人と、長男（ニュー 取材に伺った午前中、農作業
ヨーク駐在）、次男（JA勤務）、 を終えたばかりの、お疲れの中
長女（学生で県外在住）の五人 でしたが、心よく迎えて頂き、

時の経つのは早いもので、 選挙人名簿から無作為に二
前回の村議選から三年が過ぎ 百三十人を選び、委員会メン
ました。無投票だった事によ バーが配布回収して結果をま
り、選挙終了後から定数問題 とめたのが別表の様になりま
について検討が重ねられてき す。これを一つの判断材料と
たと思われませんが、残す して、定数が決められた
所あと一年と言う時期に 事と思えますが今一度議
来て定数問題が、村民の 員の方々が、村民の声を
関心の的となりました。し 聞く努力をして頂き、村
かし、議員の方々が住民 民の代表である事を自覚
の声を聞く姿勢が見えな して頂きたいと思えます。

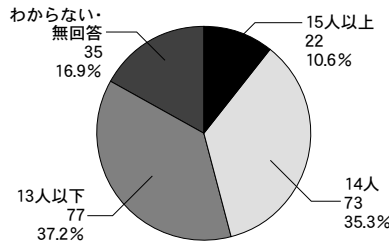
村民の代表とは？

寺垣外 原 八州彦

私の一言

員会で議長さん
へ請願書を出し
た所、六会場で
懇談会が行われ
た訳ですが、出
席しない人の声も大
事な事と思いいんケー
ト調査を行ないまし
た。

望ましい議員定数



選挙人名簿から無作為に二
百三十人を選び、委員会メン
バーが配布回収して結果をま
とめたのが別表の様になりま
す。これを一つの判断材料と
して、定数が決められた
事と思えますが今一度議
員の方々が、村民の声を
聞く努力をして頂き、村
民の代表である事を自覚
して頂きたいと思えます。

木目込人形を見せて頂きました。
木目込人形というのは、日本
の伝統工芸品で二百八十年程の
歴史のあるものだそうです。
作り方は、桐のおがこを固め
て作ったボディに溝をつけ、そ
の溝に布を目打で入れ込んでい
くという繊細な技法が必要とさ
れます。切りつきや蒔絵の技法
などの技術も大事ですが、下地
になるボディのみがが一番大
事なポイント
になるとい
事でした。

た作品はすべて優雅で素晴らし
いものでした。
去年は体調をくずしてしま
いましたが、体を丈夫にしてお弟
子さん達から元気を頂きながら
楽しく続けていきたいと優しい
笑顔で話して下さいました。
これからも日本の伝統工芸の
文化を伝えるためにもがんばっ
て頂きたいと思えます。

幸恵さんは
人形作りを始
めて二十三年
になります。
現在四十人
以上のお弟子
さんがおいま
すが、皆さんの
技術の向上を
みるのがとて
も嬉しいと話
されました。
ご自身も教師
の資格を取得
され全国大会
に出した作品
は何回も賞を
頂いているそ
うです。
見せて頂い



人形と唐沢幸恵さん

編集後記

△六月の定例議会も無事閉会と
なった。

一年間かけて議員定数も議員
ひとり一人が議論して十四名に
可決した。今まで以上により多
くの村民の声を受けとめて、課
題に取り組む姿勢が求められる。

△日照不足で、農作物にも、影
響があるのではないか心配され
る収穫の季節を迎える。今後、
台風・大雨等の被害もなく乗り
越えることを願っている。

△いつでもどこでも懇談に議員
を呼んで下さい。と取り組みを
始めた。議会懇談会において、
皆様から貴重な意見をいただく
ことができました。議会では、
こうした懇談会に出られない方々
を含め、住民の皆様にも更にお話
をして参りたいと思えます。気
軽に、声をかけて下されば、ど
こでもお伺いします。よろ
しくお願ひします。

△今後多くの村民の皆さんに、
傍聴においていただき、共に今
後の豊丘村を考えていたくださ
いと思えます。子供さん連れで
気軽にお出かけ下さい。

